

JISA新執行部、記者懇談会を開催

平成23年7月1日、日東紡ビル4階会議室で報道記者及びマスコミ関係者を対象とした「JISA記者懇談会」が開催された。

今回は、6月30日の第28回定時総会で承認された新執行部の最初の記者懇談会であり、JISAからは浜口友一会長をはじめ、五十嵐隆副会長、岡本晋副会長、神山茂副会長、國井秀子副会長、島田俊夫副会長、河野憲裕副会長・専務理事、荒井隆秀常務理事・事務局長、田原幸朗理事・事務局次長が出席し、報道関係者は18名が参加した。また、JISA広報・人材委員会広報部会からは和田泰之部会長を始め多数の委員が参加した。

最初に河野憲裕副会長・専務理事より新役員が紹介され、「今回の改選はかなり大幅なものであり、役員49名中20名が新しく選任された。また、今回の改選で女性理事は4名となった」と説明があった。

浜口会長は挨拶の中で、「ここ数年、JISAとして検討してきた業界の構造改革の方向は現実のものとなりつつある。ただ、今年は3月の大震災を抜きに話は進まない。データセンターやIXの首都圏一極集中の問題など、情報システムのBCPについてやらなくてはならないことがたくさん出てきている。一方、被災地の復興については、復興のビジョンに『新しい街づくり』を是非入れていただき、我々に協力させていただけると有り難い。被災地の企業に仕事が回り、雇用も確保されるよう期待する。」と述べた。

各副会長の自己紹介では、当日開催された正副会長会議で決定した各委員会の担当を踏まえ、抱負や問題認識が示された。なお、各副会長の担当は、企画委員会－島田、市場委員会－岡本、技術委員会－國井、国際委員会－五十嵐、広報・人材委員会－神山であり、それぞれ委員長として活動を統括する。

最近の話題として「JISA Awards 2012の創設」「JISAダイバーシティ戦略の策定」「震災に伴う電力不足問題とJISAの対応」「世界初の要求工学知識体系REBOK刊行」について事務局より説明があった。

記者からは「ダイバーシティ戦略について、率だけでなく女性の管理職を増やすためのモデルケースを公表する予定はあるか」「地方の情報産業の活性化に向けた取り組みは」「データセンターのニーズが急増する中で電力がこのような状況では、データセンターが日本から逃げてしまうのではないか。サービス化へシフトしなくてはならない今ここでつまづくと、取り返しのつかないことになるのでは」などの質問があり、会長及び当該分野を担当する副会長によりJISAとしての取組の方向性や将来展望について回答した。

懇談会終了後、9階のJISA事務所内の会議室において、多数の報道記者及びマスコミ関係者の参加を得て懇親会が行われ、新役員との間で活気に満ちた交流が行われた。

(田畑)